

現代短歌 アンソロジー

〈洋楽〉二十八首

吉川宏志 「塔」短歌会選者

Hiroshi Yoshikawa



私が高校生のころ、マイケル・ジャクソンやマドンナなどが全盛期を迎えていた。日本のテレビは歌謡曲中心で古い感じだった。洋楽を聴くのが格好いいんだ、というのが私達の共通認識だった。

しかしレコードは高価で買えない。FMラジオをチェックしたり、友達にテープに録音してもらったりして、必死に聴いた。森屋君の家で聴いたデュランデュランの「ザ・リフレックス」が凄い衝撃だった

ことをよく憶えている。今では、中古CD店に行くと当時のアルバムが驚くほど安く売っていて、何だか涙ぐましくなる。

今の若い世代には洋楽ファンは少ないようだ。アメリカへの憧れは薄れ、韓流のほうが人気だ。やはり「時代は変わる」(ディラン)。私の歌も飛び入りで参加させてほしい。「滅びたる身体を離れ明るけれホイットニー・ヒューストン若き日の声」(「燕麦」)

ただ一度生れ来しなり「さくらさくら」歌ふベラフォンテも我も悲しき

高田修二「花火の星」

ジヨゼフィヌ・バケル唄へり 掌の火傷に泡を吹くオキシフル

塚本邦雄「裝飾樂句」

イブ・モンタンの枯葉愛して三十年妻を愛して三十五年

● 黒人のジャズ女性歌手。やはり人種差別と闘った人。
● シャンソン歌手。ストレートに愛を歌って印象的。

岩田 正「郷心譜」

群衆を欺くは己れあざむくより易くわが唇を奪いあう千の唇

永田和宏「無限軌道」

● エルビス・プレスリーを歌う。上の句は箴言的に響く。

薄護謨の如きあしたの悲しさをエルトン・ジョンを聴きて越えつも 阿木津 英「紫木蓮まで・風舌」

生きながらブルースに葬らるるジョプリンも暗き時代に生きし乱れ子

河野愛子「黒羅」

● 心温まる「僕の歌は君の歌」あたりであろうか。
● 破滅的に生きたジャニス。上の句は曲名を踏まえる。

フレディ・マーキュリー死して幾日 We will rock you, I will rock you.

春日井 建「友の書」

● クイーンのポーカー。「We」を「I」に変えて追悼した。

この曲と決めて海岸沿いの道とばす君なり「ホテルカリフォルニア」

俵 万智「サラダ記念日」

● イーグルスの名曲を明るくいイメージのBGMに使った。

花の宴たちまち消えて月さすは浅茅がホテル・カリフォルニア跡

大塚寅彦「刺青天使」

● だが実際は暗澹とした歌詞らしい。「雨月物語」も重ねて。

STONESはわが青春にたまゆらの影落としつつむごく老いたれ

島田修三「晴朗悲歌集」

● 結成五十年。老いてロックするのが格好いいとも言いが。

サイモンとガーファンクルのうたごゑのさわさわとして春たつらしも

喜多昭夫「青夕焼」

● 序詞的に固有名詞を使う手法が、当時話題となった。

かなたよりスカボロー・フェア聞こえ来つ やさしい人と呼ばれる夕べ

大辻隆弘「水廊」

● サイモン&ガーファンクル。青春の哀愁が漂う一首。

ジョン、きみを撃ちし後わが胸ふかく水いろの玉ひとつ生れしを 加藤治郎「サニー・サイド・アップ」

● レノンを殺害した男を詠む。下の句は涙か、それとも。

ジェラス・ガイ夜半に何かを食みている皮のコートを軋ませながら

前田康子「ねむそうな木」

● レノンの名曲。「僕は嫉妬深いだけ」と彼は歌った。

ジョンレノン「woman」ゆたけし 生徒らに聴かせてけふの授業をしのごく

大松達知「スクールナイト」

● 一人の女性への愛を通して人類愛を歌った曲という。

アメリカで聴くジョン・レノン海のごとし民族はさびしい船である

小島ゆかり「ヘブライ暦」

● 民族を超えた大きなものをレノンの歌に感じたのだろう。

もつと楽しき春の雷どつと鳴るキンダクリムゾンのCD止めば

梅内美華子「横断歩道」

すでもうちぐはぐ夫婦なれど聴くビリー・ジョエルへ素顔のまままで

松平盟子「シユガー」

クラッシュの歌詞書き抜きて壁に貼る「人生なんて笑えばいいさ」

森本 平「空を忘れず」

ドアーズの「ハロー・アイ・ラヴ・ユー」の後雪まじる雨誰が咎として

藤原龍一郎「19XX」

ニール・セダカの破れ目多き若き声聴きつつ愛車は木曾川を越ゆ

栗木京子「万葉の月」

拒食症に死にしカレン・カーペンターも同世代者のはるかなるこゑ

小池 光「滴滴集」

ギター弾き話せば分かり合えると言うビートルズ世代始末に困る

川本千栄「青い猫」

通勤のさなかアヴリル・ラヴィーンの歌声響く今朝の頭蓋に

田中 渥「地球光」

寝て聴けばビーチボーイズうつくしいならば誰とも結婚しない 永井 祐「日本の中でたのしく暮らす」

● 理想を信じられない世代のシビアナ認識。苦笑させる歌。

しゃべりつつ言葉を選ぶ立ち止まりムーンウォークをする感じにて

● 若い女性ロック歌手。可愛くてちよつと尖った曲である。

石巻の小さな体育館に来て普段着でうたふシンディ・ローパー

● 穏やかで優しい曲が多い。このままでいい、と思わせる。

ノラ・ジョーンズつぶやくごとくうたひをり満作の花のごとくなつかし

● マイケル・ジャクソンの無重力的なパフォーマンス。

● 大震災のチャリティで来日。華やかで自在、強烈な女性。